

MARUYAMA REPORT 2015

第80期 報告書

2014.10.1 ▶ 2015.9.30

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援およびご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2015年9月期の決算を終了いたしましたので、事業の概況ならびに決算の内容についてご報告申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長
尾頭正伸



▶ 決算ハイライト

<p>■ 売上高</p> <p>35,178百万円</p> <p>前期比 1.8%減</p>	<p>■ 営業利益</p> <p>1,249百万円</p> <p>前期比 35.3%減</p>
<p>■ 経常利益</p> <p>946百万円</p> <p>前期比 40.3%減</p>	<p>■ 当期純利益</p> <p>647百万円</p> <p>前期比 0.5%増</p>

CONTENTS

株主の皆様へ……………P1	株式情報……………P8
連結セグメント別の概況……………P3	会社情報……………P9
連結財務諸表……………P5	株主メモ……………P10
トピックス……………P7	

▶ 2015年9月期における事業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益、雇用・所得環境の改善傾向が続く中、政府や日銀の各種政策の効果もあり、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、海外経済におきましては、米国は回復傾向が続いておりますが、アジア新興国等において弱さがみられ、米国の金融政策の正常化への動きや、ユーロ圏内での諸問題など、景気の下振れリスクが残っております。

当社グループの主力事業である農林業用機械市場全体での出荷・生産実績は、輸出におきましては、円安効果などにより、前年に対し増加いたしました。しかしながら、国内におきましては、前年からの米価下落を背景とした設備投資意欲の低下、農業従事者の減少や高齢化などにより減少しており、市場を巡る企業間競争は引き続き厳しいものとなっております。

このような状況のもと、当社グループは、国内におきましては、「創業120周年丸山サンクスキャンペーン」を全国で実施し、キャンペーン製品を中心に積極的な営業活動を展開することにより販売の拡大に努めてまいりました。一方、海外におきましては、欧州の販売拠点としてベルギーに駐在事務所、東南アジアの販路拡大のためタイに販売会社を設立するなど、新たな海外販路の開拓と販売の拡大に取り組んでまいりました。

これらの結果、国内におきましては、当連結会計年度の9月から適用されたディーゼルエンジン排出ガス規制前の更新需要はありましたが、米価の下落による設備投資意欲の低下や、消費税増税後の回復の遅れなどにより、国内売上高は26,358百万円(前期比5.2%減)となりました。また、海外におきましては、景気回復や円安効果などにより、中南米、アジア向けを中心に増加したため、海外売上高は8,820百万円(前期比10.1%増)となりましたが、国内の減少を補うまでには至らず、売上高合計は35,178百万円(前期比1.8%減)となりました。利益面では、売上高の減少、円安に伴う材料費の高騰による原価率の上昇などにより売上総利益が減少したため、営業利益は1,249百万円(前期比35.3%減)、経常利益は946百万円(前期比40.3%減)となりました。当期純利益は、法人税率の引下げに伴う繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額の増加はありましたが、投資有価証券の売却益を計上したことなどにより、647百万円(前期比0.5%増)となりました。

▶ 2016年9月期の見通しについて

今後につきましては、国内におきましては、政府の農業政策の変化、TPP問題、海外におきましては、景気の下振れリスク、為替変動などにより、当社グループの事業を取巻く環境は大きく変動しております。

このような状況の中、当社グループは①国際競争力の強化、②国内の市場変化への対応、③コーポレートガバナンス体制の強化を重点課題として取り組み、引き続き企業体質の強化ならびに収益力の向上に努めてまいります。

次期の業績予想につきましては、連結売上高36,000百万円(前期比2.3%増)、連結営業利益1,300百万円(前期比4.0%増)、連結経常利益1,200百万円(前期比26.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円(前期比8.1%増)を見込んでおります。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり配当金 (円)
第 2 四 半 期 業 績 予 想 (2016年9月期)	14,500	150	100	50	—
通 期 業 績 予 想 (2016年9月期)	36,000	1,300	1,200	700	4

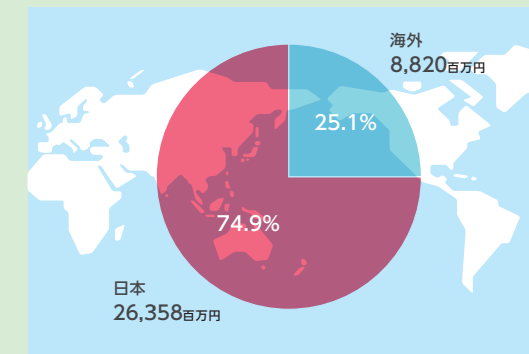
株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

	売上高構成比	売上高・営業利益の推移	取扱商品	業績の概要												
農林業用機械	<p>農林業用機械 売上高 26,483百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2013/9</td><td>24,899</td><td>2,002</td></tr> <tr><td>2014/9</td><td>26,811</td><td>2,155</td></tr> <tr><td>2015/9</td><td>26,483</td><td>1,242</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2013/9	24,899	2,002	2014/9	26,811	2,155	2015/9	26,483	1,242	<ul style="list-style-type: none"> 噴霧機 散布機 刈払機 チェーンソー その他 	<p>売上高(前期比) 1.2%減</p> <p>営業利益(前期比) 42.4%減</p> <p>国内におきましては、「創業120周年丸山サックスキャンペーン」を中心に、積極的な営業活動を展開したこと、当連結会計年度の9月から適用されたディーゼルエンジン排出ガス規制前の更新需要などにより、下期においては、前期に比べ高性能防除機が増加しましたが、米価の下落による設備投資意欲の低下や、上期までの消費税増税後の回復の遅れなどにより、通期の売上高は減少いたしました。また海外におきましては、防除機、林業機械が増加しましたが、国内の減少を補うまでには至らず、国内外の農林業用機械の売上高合計は26,483百万円(前期比1.2%減)、営業利益は1,242百万円(前期比42.4%減)となりました。</p>
年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2013/9	24,899	2,002														
2014/9	26,811	2,155														
2015/9	26,483	1,242														
工業用機械	<p>工業用機械 売上高 5,701百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2013/9</td><td>4,875</td><td>986</td></tr> <tr><td>2014/9</td><td>5,539</td><td>1,139</td></tr> <tr><td>2015/9</td><td>5,701</td><td>1,216</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2013/9	4,875	986	2014/9	5,539	1,139	2015/9	5,701	1,216	<ul style="list-style-type: none"> 工業用高圧ポンプ 高圧洗浄機 	<p>売上高(前期比) 2.9%増</p> <p>営業利益(前期比) 6.8%増</p> <p>国内におきましては、ほぼ前期並みとなりましたが、海外において、景気回復や円安効果などにより、北米、欧州向けを中心に工業用ポンプが増加した結果、国内外の工業用機械の売上高合計は5,701百万円(前期比2.9%増)、営業利益は1,216百万円(前期比6.8%増)となりました。</p>
年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2013/9	4,875	986														
2014/9	5,539	1,139														
2015/9	5,701	1,216														
その他の機械	<p>その他の機械 売上高 2,779百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2013/9</td><td>2,904</td><td>99</td></tr> <tr><td>2014/9</td><td>3,259</td><td>107</td></tr> <tr><td>2015/9</td><td>2,779</td><td>18</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2013/9	2,904	99	2014/9	3,259	107	2015/9	2,779	18	<ul style="list-style-type: none"> 消火器 防災関連機器 環境衛生用機械 その他 	<p>売上高(前期比) 14.7%減</p> <p>営業損失(前期比) 107百万円 (前期は営業損失)</p> <p>消防機械を主なものとする、その他の機械の売上高は2,779百万円(前期比14.7%減)、営業損失は18百万円(前期は営業損失107百万円)となりました。</p>
年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2013/9	2,904	99														
2014/9	3,259	107														
2015/9	2,779	18														
不動産賃貸他	<p>不動産賃貸他 売上高 534百万円</p>	<table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th><th>営業利益 (百万円)</th></tr> <tr><td>2013/9</td><td>508</td><td>262</td></tr> <tr><td>2014/9</td><td>557</td><td>298</td></tr> <tr><td>2015/9</td><td>534</td><td>285</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	2013/9	508	262	2014/9	557	298	2015/9	534	285	<ul style="list-style-type: none"> 不動産賃貸 売電事業 	<p>売上高(前期比) 4.1%減</p> <p>営業利益(前期比) 4.3%減</p> <p>不動産賃貸他の売上高は534百万円(前期比4.1%減)、営業利益は285百万円(前期比4.3%減)となりました。</p>
年度	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)														
2013/9	508	262														
2014/9	557	298														
2015/9	534	285														

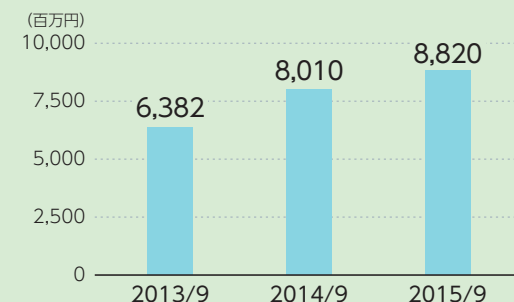
※セグメント別売上高は、セグメント間取引調整前の金額にて表示しております。

海外の売上高の状況

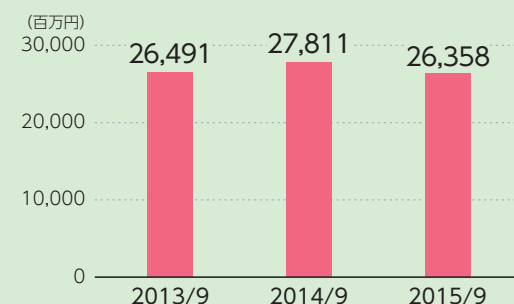
売上高の海外構成比



海外



日本



▶ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2014年9月30日現在)	当期 (2015年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	21,282	22,371
固定資産	11,449	12,078
有形固定資産	7,619	8,076
無形固定資産	179	484
投資その他の資産	3,650	3,517
資産合計	32,732	34,449

Point
①

Point ① 資産合計

当連結会計年度末における資産総額は34,449百万円となり、前連結会計年度末より1,717百万円増加いたしました。これは主に、流動資産が受取手形及び売掛金の増加、また、有形固定資産が設備投資により増加したことによるものであります。

Point ② 負債合計

負債総額は20,066百万円となり、前連結会計年度末より1,576百万円増加いたしました。これは主に、流動負債が短期借入金の減少はありましたが、支払手形及び買掛金、電子記録債務の増加したことによるものであります。

Point ③ 純資産合計

純資産は14,383百万円となり、前連結会計年度末より140百万円増加いたしました。これは主に、当期純利益を計上したことなどによる利益剰余金の増加によるものであります。

Point
②

Point
③

(単位:百万円)

科目	前期 (2014年9月30日現在)	当期 (2015年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	10,658	11,655
固定負債	7,831	8,411
負債合計	18,490	20,066
純資産の部		
株主資本	13,430	13,609
資本金	4,651	4,651
資本剰余金	4,525	4,525
利益剰余金	4,482	4,660
自己株式	△228	△228
その他の包括利益累計額	811	774
純資産合計	14,242	14,383
負債及び純資産合計	32,732	34,449

▶ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2013年10月1日～ 2014年9月30日)	当期 (2014年10月1日～ 2015年9月30日)
売上高	35,822	35,178
売上原価	26,003	25,952
売上総利益	9,818	9,225
販売費及び一般管理費	7,887	7,976
営業利益	1,931	1,249
営業外収益	119	137
営業外費用	464	439
経常利益	1,586	946
特別利益	0	90
特別損失	392	23
税金等調整前当期純利益	1,194	1,014
少数株主損益調整前当期純利益	644	647
当期純利益	644	647

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前期 (2013年10月1日～ 2014年9月30日)	当期 (2014年10月1日～ 2015年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,318	698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,194	△917
財務活動によるキャッシュ・フロー	△480	△311
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△300	△529
現金及び現金同等物の期首残高	3,061	2,760
現金及び現金同等物の期末残高	2,760	2,230

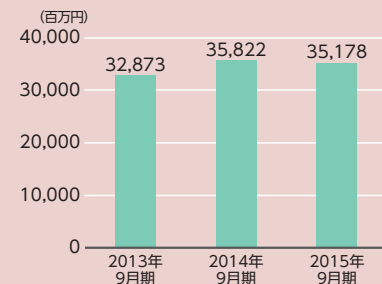
Point
④

Point ④ 現金及び現金同等物の期末残高

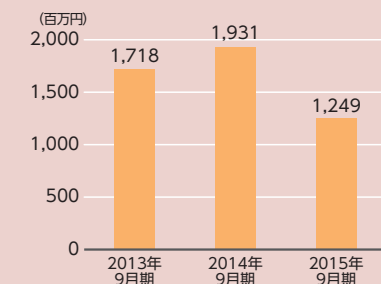
営業活動は、売上債権の増加はありましたが、税金等調整前当期純利益を計上したこと、仕入債務が増加したことなどにより増加いたしました。しかしながら、投資活動では、設備投資による有形固定資産、無形固定資産の取得による支出などにより減少いたしました。また、財務活動でも、短期借入金の減少などにより減少した結果、当連結会計年度の現金及び現金同等物は前連結会計年度と比べ529百万円減少いたしました。

▶ 連結業績の推移

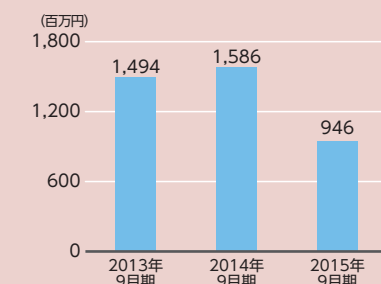
●売上高



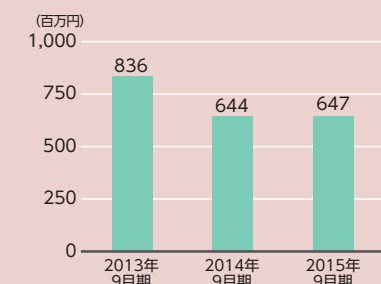
●営業利益



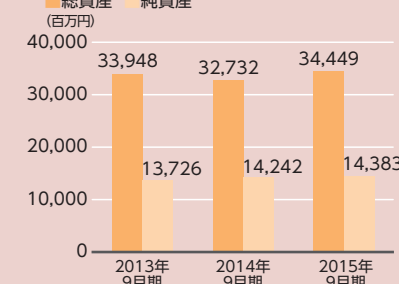
●経常利益



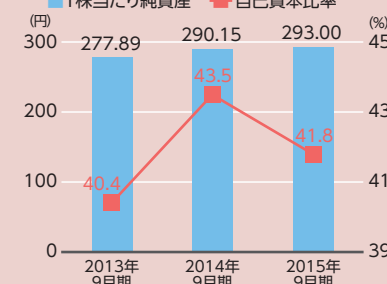
●当期純利益



●総資産・純資産



●1株当たり純資産・自己資本比率



千葉工場にて塗装前処理工場の新設



当社は現在、生産場所の更なる最適化・効率化を目指し、千葉県東金市所在の千葉工場内建物および設備の再編計画を進めております。老朽化した建物の新設および溶接・塗装設備の更新を計画しており、第Ⅰ期工事では、製品の塗装前処理工場を本年2月より着工し、9月に完成、10月より稼働いたしました。

今後は、第Ⅱ期工事としまして溶接および塗装工場を更新する予定です。

新工場では、溶接工程から塗装工程までの一貫生産ラインを構築し、工場内における物流の効率化、生産リードタイムの短縮等により生産性の向上を図ります。

また、トップライト・LED照明を採用し、省エネを考えた工場に生まれ変わります。



丸山レディースプロジェクト発 草刈機「かる～の」を発表

当社は、2013年に女性社員の更なる活性化を目的に丸山レディースプロジェクト（Lプロジェクト）を発足させました。Lプロジェクトの企画の一つには、女性目線で女性の農業従事者の方々を応援する製品づくりがあり、その第一弾として昨年、草刈機用チップソー「ハート De カローネ」を発売いたしました。

そしてこの度、製品では初となる、女性のための草刈機「かる～の」が完成し、7月にプレス発表を実施いたしました。

「かる～の」は、Lプロジェクトが農林水産省の農業女子プロジェクトに参画し、実際に農業女子プロジェクトメンバーの方々とは話し合い、一緒に作り上げた製品です。

女性目線での様々な改良点が反映され、女性の農業従事者の方々からも好評をいただいております。

今後も、当社Lプロジェクトは、女性目線で、快適に農作業ができる製品づくりに取り組んでまいります。



株式の状況

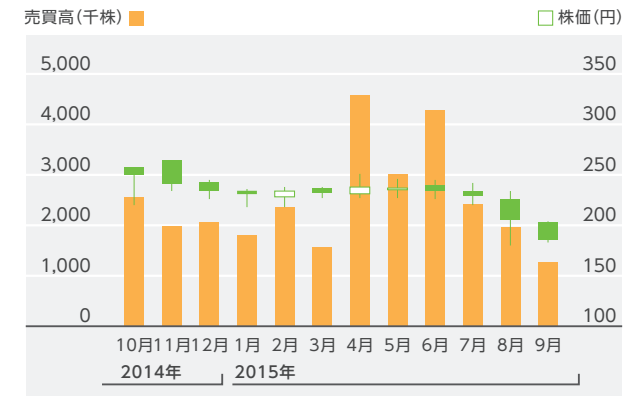
発行可能株式総数 139,061,000株
発行済株式の総数 50,293,328株 (自己株式1,204,611株を含む。)
株主数 6,011名

大株主(上位10名)

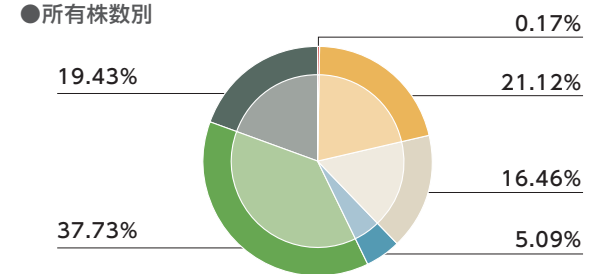
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社みずほ銀行	2,100	4.28
農林中央金庫	2,052	4.18
株式会社千葉興業銀行	1,625	3.31
みずほ信託銀行株式会社	1,400	2.85
クレディスイルクセンプルグエスエー オンビハーフオブクライアント	1,398	2.85
丸山製作所取引先持株会	1,195	2.44
株式会社クボタ	954	1.94
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	767	1.56
丸山製作所従業員持株会	744	1.52
三井住友信託銀行株式会社	734	1.50

(注)1. 持株比率は自己株式(1,204,611株)を控除して算出しております。
2. 当社は、平成23年8月9日開催の取締役会において、「株式給付信託(L-ESOP)」を導入することを決議し、平成23年9月2日から平成23年9月7日にかけて資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式524,000株を取得しております。なお、平成27年9月30日現在において信託E口が所有する当社株式517,000株を自己株式数に含めております。

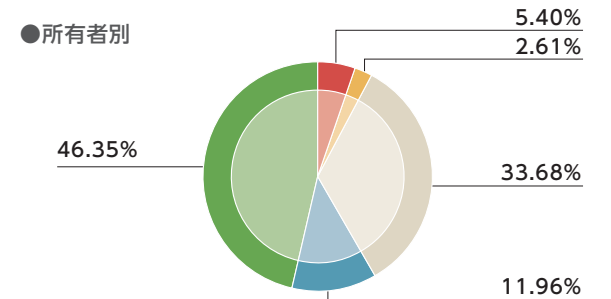
株価および株式売買高の推移



株式の分布状況



所有株数別	株主数	株数
1千株未満	577名	85,527株
1千株以上10千株未満	4,850名	10,621,626株
10千株以上50千株未満	494名	8,279,612株
50千株以上100千株未満	37名	2,557,511株
100千株以上1,000千株未満	47名	18,976,832株
1,000千株以上	6名	9,772,220株



所有者別	株数
外国法人等	2,717千株
証券会社	1,311千株
金融機関	16,938千株
その他国内法人	6,017千株
個人その他	23,310千株

▶ 会社の概要 (2015年9月30日現在)

商号	株式会社丸山製作所
英文名	MARUYAMA MFG. CO., INC.
設立	1937年11月1日
資本金	46億5,106万円
本社	東京都千代田区内神田三丁目4番15号
主な事業内容	農林業用機械（噴霧機、刈払機ほか）、工業用機械（高圧ポンプほか）、消防機械（消火器ほか）、環境衛生用機械ほかの製造並びに販売 不動産賃貸事業、売電事業
国内関係会社	日本クライス株式会社、マルヤマエクセル株式会社、西部丸山株式会社、丸山物流株式会社
海外関係会社	マルヤマU.S., INC.、マルヤマ（タイ）CO., LTD.、丸山（上海）貿易有限公司、山東秋田丸山機械股分有限公司、アジアンマルヤマ（タイ）CO., LTD.
従業員数	531名
グループ従業員数	932名
工場	千葉工場、東金第二工場
事業所	鏡野事業所、福島事業所
営業所	北海道、秋田、北東北、南東北、福島、新潟、甲信、茨城、北関東、千葉、静岡、名古屋、北陸、大阪、中国、四国、福岡、熊本、南九州

▶ 役員の状況 (2015年9月30日現在)

代表取締役会長	内山治男	
代表取締役社長	尾頭正伸	
専務取締役	鎌倉利博	管理本部長
常務取締役	杉本淳一	生産本部長兼千葉工場長
常務取締役	遠藤茂巳	営業本部長
取締役	山田克彦	品質ものづくり統括部長
取締役	石村孝裕	営業推進統括部長
取締役	内山剛治	経営企画室長
取締役	小松豊	社外取締役
常任監査役（常勤）	砂山晃一	社外監査役
監査役（常勤）	三輪成祥	
監査役	土岐敦司	社外監査役
監査役	税所正明	社外監査役

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
利益配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	9月30日 その他必要ある場合は予め公告して設定いたします。

定時株主総会	12月
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
お問い合わせ先、郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部 TEL 0120-288-324（フリーダイヤル）

未払配当金の受領	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店
----------	--

単元株式数	1,000株
-------	--------

公告方法	電子公告（当社ホームページ http://www.maruyama.co.jp ） ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。
------	---

お知らせ

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、その他各種手続きにつきましては、株主様が口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人のみずほ信託銀行ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 未払配当金の受領や支払明細発行、証券会社等に口座がないため特別口座が開設され、その特別口座に記録されました株式に関する各種お手続きなどにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。
- 株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等（いわゆる「外字」）が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。
このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。
株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

単元未満(1株から999株)株式をお持ちの株主様へ

買取をご請求いただくことで、単元未満株式を売却することができます。
詳細につきましては下記までお問い合わせください。

■ お問い合わせ先

- 証券会社などの口座に記録された株式
口座開設の証券会社などへ
- 特別口座に記録された株式
上記のみずほ信託銀行株式会社へ

■ 買取制度の例（1,600株ご所有の場合）





見やすく読みまぢがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



ミックス

責任ある木質資源を
使用した紙

FSC® C013080

森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用して印刷しています。